

# NEWSLETTER

No112819

## <NOTICE>

明日(11/29)のSUMMARYの更新はありません。

\*\*\*\*\*

今週号ではトライアングルとハンドテーブルをナンバーオペレーション実践のための道具として統合して利用することを課題として掲げ解説を加えました。

以下に今週のポイントを掲げますのでレビューしてください。

\*\*\*\*\*

### Every type of hand to be acquired

最終的にすべてのタイプのハンドを身につけてほしいと思います。  
得意のタイプのハンドを一つ確実に身につけそれから少しずつ異なるタイプのハンドを加えていくといいでしょう。すべてのタイプのハンドには共通性があります。そして、つながっています。ハンドはいわば数式です。そして、ハンドに含まれた数値はマトリックス及びバリューチェーンに含まれた数字(数値構造/価値構造)とつながっています。

数値の変化の予測をしない、予測の必要はありません。数値はすべて循環し連続しています。そして、途切れることなく回転しています。回転しているというイメージを持つことです。数値の変化は「時間」と関係しています。ハンド操作において最も重要なのはローテーションです。その間に、フリップ→レイズ→ランオフ/フォールドの操作のプロセスがあります。

### Have a good command of your tools!

- ・マトリックス(数字の記録帳)
- ・バリューチェーン(これは記録して保存する必要はありません。オペレーションを実行する時にみえます。...数字の見ることに慣れる、さらに、一歩進んで数字を観察する眼力を養うことが求められます。)
- ・ノート/カード/ペン
- ・PC/エクセル(表計算ソフト・アプリケーション)
- ・ハンドテーブル(ハンド管理表)

\*ハンドテーブルは必須の道具と言っていいでしょう。

これなしに成功はできないと言っても過言ではありません。

扱う数量やハンドのタイプが増えるとハンドテーブルなしに効率的に対処できなくなります。

ハンドテーブルはエクセル(表計算ソフト)で作成してもマニュアル(手作業)で作成してもどちらでも構いません。一度は手書きで作成することをお勧めします。個々のハンドの繋がりが分かり、ナンバーオペレーションの本質が見えてきます。

教廷条件とハンドを音周知させて  
収益を生み出すためにポイント  
1  
テーブルが必要不可欠。